

授業科目名	図画工作(B)			科目コード	K1201P41
英文名	Arts and Crafts				
科目区分	子ども育成の内容・方法				
職名	講師	担当教員名	佐部利 典彦		
学部	子ども育成学部	学科	現代社会学科		
曜日	木曜日	時限	5時限		
開講時期	1年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	幼児・児童の造形教育に関する基礎的な造形能力や指導力の育成を目指す。 内容は主として造形表現・図画工作科の特性を理解するとともに、具体的な作品制作に基づきながら造形特性を考察する。 。また作品鑑賞の能力も身につける。（担当教員：小学校、中学校での実務経験あり）				
キーワード	豊かな感性	創造力	教材研究		
到達目標	幼児・児童の造形表現指導の目標と内容を理解することができる。（50％）				
	教育研究を通して幼児・児童の造形表現の特性をふまえた、多様な造形表現、鑑賞を行うことができる。（50％）				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
			○	○	

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 図画工作で目指すものについて 図画工作の内容(1)様々な材料による表現 1	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探索する。	30分
第2回	造形・図画工作の内容(2) 主体的な制作活動するために考察すること 様々な材料による表現 2	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探索する。	30分
第3回	造形・図画工作の内容(3) 表現(絵) 様々な描画材材による作品制作(クレヨン、マーカー、色鉛筆等による表現)	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探索する。	30分
第4回	造形・図画工作の内容(4) 表現(絵) 様々な描画材による作品制作(水彩絵の具の使い方、表現方法)	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探索する。	30分
第5回	造形・図画工作の内容(5) 表現(工作) 切り絵をベースにした表現およびコラージュ	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探索する。	30分
第6回	造形・図画工作の内容(6) 表現(工作) 粘土での制作 1(成形)	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探索する。	30分
第7回	造形・図画工作の内容(7) 表現(絵) 版画による作品制作 紙版画 1(下書きと版作り)	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探索する。	30分
第8回		
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探索する。	30分
第9回	造形・図画工作の内容(9) 表現(工作) 身近にある材料を使って表現する 1(協働制作、グループで企画)	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探索する。	30分

第10回	造形・図画工作の内容（１０） 表現（工作） 身近にある材料を使って表現する２(協働制作、グループで制作、展示)	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探究する。	30分
第11回	造形・図画工作の内容（１１）表現（工作） 粘土での制作２(色付け)	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探究する。	30分
第12回	造形・図画工作の内容（１２）表現（絵） クロッキー、デッサン、スケッチ	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探究する。	30分
第13回	造形・図画工作の内容（１３）表現（絵） アクションペインティング	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探究する。	30分
第14回	造形・図画工作の内容（１４）鑑賞 作品鑑賞の仕方	
	【予習】材料、教材、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探究する。	30分
第15回	造形・図画工作の内容（１５）鑑賞 美術館での作品鑑賞	
	【予習】材料、教材、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探究する。	30分
第16回	定期試験は行わない。	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標 ～ について、取り組み・活動・制作の様子（70％）、提出課題（30％）で評価する。到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	特になし	使用資料 <参考図書>	文部科学省「小学校学習指導要領解説図画工作科編」
授業外学修等	材料、用具の準備をしておいてください。 安全や汚れに対する配慮が必要な題材の場合は、服装や準備に留意してください。		
授業外質問方法	オフィスアワーに研究室を訪問するか、メールで質問をする。		
オフィス・アワー	水曜日2限（E-306佐部利研究室）		